

「個別の指導計画」記入例 8

「文字の読み書きや文章題が苦手で、感じたことをそのまま発言するため一人でいることが多い」小学校3年生の記入例です。

通級指導教室で指導を受けています。

学級担任と通級指導担当者が一緒に記入しています。

様式1は、通級指導教室の主な指導内容（自立活動）と、特に支援や配慮が必要な「国語」「算数」について記入しています。

様式2は、通級指導教室における自立活動と、「国語」「算数」の内容を補充するための指導について記入しています。

学年・組	3 年 組	校長氏名印	担任氏名印	期間
氏 名				平成 年 月～平成 年 月

教育支援計画 長期目標 (概ね3年間)	基本的な学習態度を身に付ける。 感情のコントロールとコミュニケーションの取り方を学ぶ。 集団活動に慣れる。	教育支援計画 重点目標 (概ね1年間)	授業中に、やりたことをやめて次の課題に移ることができる。 思い通りにならないときに、自分からクールダウンを求められることができる。 遊びやゲームのルールを理解し、友達と活動できる。
---------------------------	---	---------------------------	--

教科等	児童生徒の様子	年間指導目標
教 立 科 活 動	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちの切り換えが早く、遊びや学習のルールを守れなくなってしまうことが多い。 ・勝ち負けにこだわり過ぎて、ゲーム等に負けると怒ったり落ち込んだりしてしまう。 ・乗り物の絵が大好きで、特に車に関しては、種類やナンバーなどをすぐに覚えて、絵にしたり描いたりすることができる。 ・他の児童に負けることが気になり過ぎて、自信のないことを避けようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム等のルールを理解し、意欲的に参加することができる。 ・自分や他の児童のよい面に気づくことができる。 ・得意な課題について成功経験を重ね、意欲をもって取り組める活動を増やす。 ・自信がもてない課題にも見通しをもって取り組もうとすることができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の読み書きに困難がある。 ・平仮名よりも片仮名やローマ字を書くことを好む。 ・曖昧な言葉やたくさんの言葉に対して戸惑ってしまう。 ・相手の気持ちを理解することが苦手で、一方的な会話となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年の漢字を確実に読むことができる。 ・平仮名を確実に、丁寧に書くことができる。 ・話題にそって聞いたり話したりすることができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り上がりのない計算を行うことができる。 ・単純な計算は速くできるが、実生活で生かすことが難しいようである。 ・文章題に苦手意識をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り上がりのある計算を確実に行うことができる。 ・文章題の意味を読み取ることができる。
生 活	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と話そうとせず、一人でいることが多い。 ・感じたことをそのまま友達に言って、トラブルになることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に、得意なことを自信をもって話すことができる。 ・場に応じた適切な言葉を遣うことができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・賑やかな音や人が大勢集まる場所が苦手である。 ・決まったやり方でないと落ち着かず、不安定になる。 ・好奇心が旺盛で、夢中になるとやめられない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遠足、運動会、学習発表会等、全校的な行事に可能な範囲で参加することができる。 ・行動や考えを自分で切り替えることができる。
そ の 他	<p><学級の状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本児を特別扱いしているという声がある。 ・周囲の児童への理解啓発が必要である。 	<p><学級運営上の配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に他の児童への働きかけも丁寧にする。 ・本児だけを責める状況にならないよう、トラブルが起きやすい場面を想定し、どのように行動したらよいか、学級全体で考えさせる。 ・まわりの児童には、本児が騒いだり怒ったりしたときに、一緒になって騒がない、必要以上に注意しないなどの協力を求める。

学年・組		3年組			氏名								
		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
教 科 ・ 動 ・ 領 域 等	自 立 教 活 科 ・ 動 ・ 領 域 等	<個別指導>											
		【言語能力の向上】											
		文の記憶									文の構成		
		しりとり					3ヒントゲーム				絵の説明		
		【視覚・運動の協応】											
		トランプ					フラッシュカード						
		【見通し、課題の遂行、手指の巧緻性】											
		ペットボトルのビー玉落とし					紙工作				木工工作		
		<小集団指導>											
		【状況の理解、表現力の向上、課題の遂行】											
予定の板書													
個別課題の発表													
昨日の出来事													
【集団参加の意欲、ルールの理解】													
どうして?どうなる?					買い物遊び				こんなときどうする?	劇遊び			
質問遊び					言葉のサーキット								
【指示理解、役割の遂行】													
活動の準備、片付け													
給食の配膳													
掃除(雑巾がけ、ほうき、掃除機)													
国 語	つづけて みよう	ありの行 列	様子を伝 える	本と友だ ちになろ う	話し合 い、発表	想像しな がら読む	たべもの はかせに なるう	説明書を 作ろう	名前をつ けよう	漢字と友 だち	もちもち の木		
域	きつつき の商売	国語辞典	くわしく する言葉		へんとつ くり	ローマ字	送りがな るた	いろはが るた	宝ものを さがしに				
等	九九作り ゲーム	4桁のた し算とひ き算	かけ算と ひっ算	表とグラ フ	かさ わり算	円と球 形	大きな数 三角形	あまりの あるわり 算	2桁のか け算	重さ	そろばん		
算	たし算と ひき算	計算の仕 方	時間と時 刻	長さ				テープ作 り	3桁×2 桁のかけ 算	直方体と 立方体	復習		
数	計算や文章題のドリル												
そ の 他	生活面の課題については、在籍学級と連携し、すべての学習活動を含め、学校生活全体で指導する。												

学年・組		3年組	氏名			指導記録			
教科等	学期の指導目標	指導内容・指導方法・手だて等	指導の			指導の経過と評価	評価		
			目標	内容	方法				
							指導の経過と評価	検討課題 (次学期に向けて)	
科 域 等	自立活動	<ul style="list-style-type: none"> トランプや質問遊びに参加することができる。 ゲーム中に、友達からのアドバイスに耳を傾けることができる。 好きな車について友達の前で話することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ルール一覧表を事前に確認するとともに、教員が入ってその都度ルールを説明する。 ゲームが一度終わるごとに、感想などを聞く時間を設定し、言いたいことを教員が補い児童間の仲立ちをする。 事前に車の車種、好きな理由を教師と一緒に考え、話をする練習をする。 週1時間通級指導教室で行う。 	4 3	4 3	4 3	<ul style="list-style-type: none"> ゲームは最初見ているだけだったが、少しずつ遊べるようになってきた。 特定の友達のアドバイスを聞き入れることがあったが、勝負に負けると怒って聞き入れなかった。 車の運転をする人になりたいことを自分から話していた。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員が入らずに児童だけでゲームをさせてみたい。 友達へのアドバイスを考えさせるようにしたい。 車を題材に紙工作に取り組みさせるようにする。 	
	国語	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名を確実に書くことができる。 2年の1～2学期の漢字を確実に読むことができる。 5W1Hに気をつけながら話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定着のための、10分間のミニドリルを用意する。 単独、文中、意味を交えてのワークシートを用意する。 昨日の出来事など、身近で最近の体験を題材にする。 週1時間(算数と合わせて)通級指導教室で行い、教室ではT・Tで支援する。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 8割を確実に書くことができるようになった。 意味や使い方を考えながら取り組むことがあった。 十分ではないが、体験したことは大まかに話げできた。 	<ul style="list-style-type: none"> マスの大きさを工夫して、きれいに書けるように促したい。 漢字を用いた短文作りに取り組みさせたい。 カードにして組み合わせるようにさせたい。 	
	算数	<ul style="list-style-type: none"> 二桁の繰り上がりのある計算を確実に行うことができる。 教師と一緒に文章題を読みながら解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 計算ドリルを基礎に、文章題の読みは教員が確認しながら行う。 答え方の例を示したり、答えを導くまでの過程を振り返る時間を確保する。 週1時間(算数と合わせて)通級指導教室で行い、教室ではT・Tで支援する。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いていれば正確にできるが、友達よりも早く解こうとして間違えることもあった。 簡単な文章題については意味を考えるようになったが、思い込みによる間違いも見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 早く解くことよりも確実にすることの方が大切なことを伝えながら課題を継続し、自信をもたせる。 文章題を図に表す活動を取り入れ、問題の解き方を教師と一緒に考えさせる。 	
生活 面	対人関係	<ul style="list-style-type: none"> 教員や友達に対して失礼なことを言わないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員がその場でより適切な言い方のモデルを見せる。 通級指導教室で、対一、少人数で会話ややり取りを学ぶ活動に取り組む。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 教室では興奮することもあるが、自分の気持ちを言葉にして謝ることもあった。 	<ul style="list-style-type: none"> トラブルを題材にして、どう対応すればよいか話し合う。 	
	集団参加	<ul style="list-style-type: none"> 運動会の全体練習に参加することができる。 タイマーが鳴ったら自分から次の行動に移ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 演技の流れを図で示し見通しもたせるとともに、並び方やグループ編制を配慮する。 本児と事前に約束をする。(あと何分で終わりにするか等) 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> なかなかみんなと一緒に行動できなかったが、好きな音楽がかかると身体を動かして楽しんでいた。 約束したことは守ろうと努力していた。 	<ul style="list-style-type: none"> サーキット運動や持久走の練習にBGMを使うことを検討したい。 約束を守ることができたときはしっかり称賛したい。 	